



でんき講座

9月
VOL.39

自然災害 ～地震・台風編～

突然の地震や台風など、自然災害への備えを忘れずに行い、いざというときに慌てないようにしましょう。



みまもちゃん

事前の備えが大事！

日頃からできる防災対策

- 家具類の転倒・落下防止をする
- 家屋・塀の強度確認や家の周辺の危険場所を確認
- 緊急時の家族間の連絡方法や地域の避難場所を確認
- 防災訓練等に参加し、知識や技術を身につける
- 分電盤(ブレーカー)の場所を確認



- 防災グッズの準備と定期的な点検

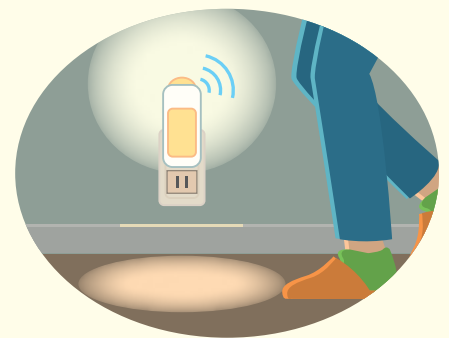



- 電気製品のそばに花瓶や水槽を置かない(電気製品は水に弱く、水がこぼれ発火する恐れがある)
- 電気製品、ガス機器の付近や上部には可燃物を置かない



備えて安心!! センサーライト

夜中に停電が起き、あかりがないと身動きが取れずに不安です。そんなとき、停電を察知して自動でぱっとあかりがつく、停電・防災用のセンサーライトがあると安心です。いくつか設置する場合は、分電盤の近くにも置きましょう。



- 当協会を名乗り、電話勧誘・訪問を行った末、点検料を請求するなど、悪質な事案が発生しています。不審な訪問販売やセールス電話には十分にご注意ください。
- 九州電気保安協会は  のマークの職員証を付けた作業服を着用しています。

電気に関するご相談は、最寄りの事業所またはホームページでお受けしています。

<https://www.kyushu-qdh.jp>

九州電気保安協会

検索



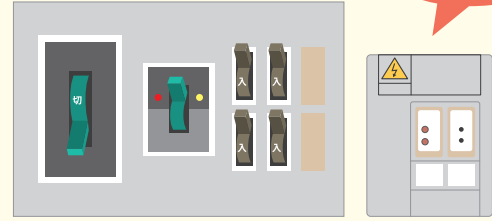
一般財団法人九州電気保安協会



備えて安心!! 感震ブレーカー

感震
ブレーカー

「感震ブレーカー」は、地震発生時に揺れを感知すると、ブレーカーを自動的に切って電気を遮断し、電気火災事故を防ぐ装置です。東日本大震災で起きた火災の過半数は、電気火災事故が原因といわれており、防災対策に感震ブレーカーを設置することは有効です。設置を希望する際は、電気工事を伴わないものは防災用品等の取扱店へ、電気工事を伴うものは電気工事店等へご相談ください。



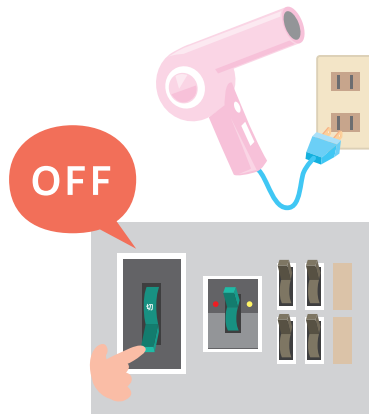
分電盤タイプ(後付型)

※コンセントタイプ、簡易タイプもあります。

地震が発生したら…

まず、身の安全を確保してください。揺れがおさまったら、慌てず、落ち着いて二次災害を防ぐ対処をしましょう。

- ガスの元栓をしめ、石油ストーブは消す
- 窓や戸を開け、出口を確保する
- アイロンやドライヤー、トースターなどの熱を発生するものはプラグをコンセントから抜く
- 避難するときは、分電盤(ブレーカー)のスイッチを必ず切る

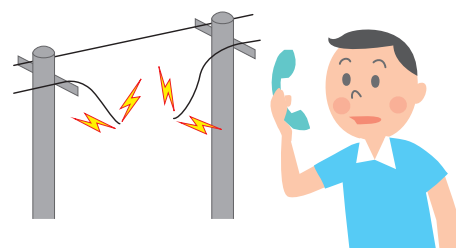
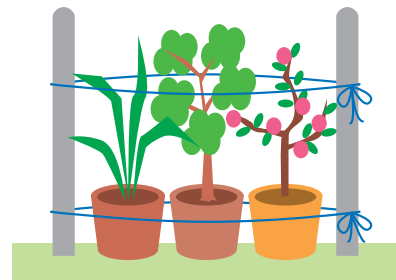


- 壊れたり、一度水に浸かったりした屋内配線や電気製品は漏電や火災の原因になるので使用しない
- 電気を使用する際は、器具の転倒やガス漏れを確認してからにする

台風が接近してきたら…

天気予報を確認して、台風が来る前に備えてください。強風で切れた電線などを見つけたら触らないようにしましょう。

- 強風で飛ばされそうなものが電線に触れると危険なので、台風が来る前に備える
 - 窓や雨戸を確実に閉める
 - 庭木・塀・カーポートの補強や固定
 - 家屋周りの風で飛ばされそうな物を固定
 - 側溝や排水口、雨桶の掃除
- 電線に樹木や看板、アンテナなどが接触している場合は電力会社へ連絡
- 破損した太陽光発電設備に近づいたり、触れたりすると感電する恐れがあるため、近寄らずに施工会社等へ連絡



- 切れて垂れ下がった電線を見つけた際は絶対に触らずに電力会社へ連絡